

ささやき

## 会員ジャーナル 第3号

—NPO法人 北海道に森を創る会—

2009年1月 発行



特集

### 二酸化炭素と森林トラスト運動

国土緑化機構からの「緑の募金の助成」を受け  
伐採や集材などの間伐作業を実践する参加者

—10月4日実施の「茨木記念の森（月形町）」第2回間伐研修会—

## 「茨木記念の森」育樹祭の開催



「茨木記念の森」育樹祭参加者たち  
北海道に緑を育てる会  
NPO法人北海道に森を創る会  
2023年11月11日撮影

### 一 はじめに

「茨木記念の森」は、月形町に所在するトドマツ人工林(二六年生)約十二畝、広葉樹天然林(八十三齢級)約八畝合計約二〇畝でNPO法人北海道に森を創る会(理事長 石子彭培 会員数九八名)の所有森林です。

当会は、平成十七年十一月に発足し、「子孫からの借物である森を育み緑も人の心も豊かな北の大地にしよう」とのコンセプトで森林トラスト運動に取組み、森林の再生やその活用に向け一

般市民等との協働で植樹、下刈及び除間伐事業を実施し、環境保全や森に対する関心を喚起する活動を行っております。

### 二 運動の広がり

この趣旨に賛同した奈良県在住の茨木時子氏から平成十八年に前記森林の寄贈を受け、「茨木記念の森」と命名しました。

当森林では、昨秋の育樹祭で会員等による枝打ちとハーベスタ等大型機械による除間伐作業を見学し、その迫力に驚嘆しました。

また、今春の植樹祭では、ミズナラ、ヤチダモ、サクラなど八種類の広葉樹を植栽、天然林内では、ほだ木生産をしました。これにシイタケ・ナメコなどを植菌するなど、多目的利用も視野する森に育てることにしております。

当会の借用地、函館市「未来の森」においても毎年、幼稚園児を含む一般市民等が大勢参加して植樹祭や育樹祭を開催して、森林の大切さを普及しております。

また、今夏には、砂川市在住の浜田

栄盛氏から砂川市の森林約五畝が寄贈され、今後の活用方法を検討中であります。

### 三 本年度の「茨木記念の森」育樹祭

十月四日(土)午後から本年度は、(株)ローソンの協賛を得て育樹祭を開催し、会員等が自ら除間伐作業を体験しました。

地球温暖化防止対策の一環となる間伐事業に、当日は会員等五〇名が参加し、主催者の石子理事長、来賓として桜庭月形町長の挨拶の後、大汗をかきながら除間伐作業に取り組みました。生産された間伐材は、NPO法人「新山川草木を育てる集い」が「道民の森」で植栽した樹木の支柱用として、四畝に玉切りしたものを約二〇〇本生産致しました。

近年局地的な集中豪雨などの異常気象は、地球温暖化の影響が少なからず考えられ、その防止対策の一環として間伐事業の積極的な取り組みなど森林の整備が一層重要になってきております。最近の原油高騰や将来の資源枯渇など化石燃料から地球にやさしい木質

## 桜庭月形町長も間伐作業を体験



燃料へ転換する循環型の暖房システムが必要となっておりまして。森林は、環境保全ばかりでなく産業としても今後の重要な

な課題であり、当会のコンセプト「子孫からの借物である森を育み緑も人の心も豊かな北の大地にしよう」の普及推進に努めて参ります。

NPO法人北海道に森を創る会

理事 片山 尚正

(社)北海道森と緑の会 発行

「ENVIS」石狩・空知・後志版より抜粋

# 未来の森 (函館市)

## 概要

土地提供 : (株)西武建設運輸 様  
 提供時期 : 2005年5月  
 住所 : 函館市亀田中野町271番地  
 面積 : 約5ヘクタール



正面のゲートと看板



中央遊歩道と植樹した木々

## これまでの主な経緯

2005年 現地調査、事業構想や事業計画の検討・策定、正面看板・遊歩道・ゲート・簡易駐車場の設営  
 2006年 第1回植樹祭(140名参加、約150本植樹)、第1回育樹祭(40名参加)、正面看板除式  
 2007年 第2回植樹祭(90名参加、約220本植樹)、第1回記念植樹会(23組応募)、第2回育樹祭(40名参加)  
 2008年 第3回植樹祭(141名参加、約60本植樹)、第2回記念植樹会(7組応募)、第3回育樹祭(36名参加)、参加者看板完成

## 2009年の主な活動

### ◎第3回植樹祭

＜実施日＞ 5月17日(日)  
 ＜参加者＞ 会員23名を含め103名  
 函館サンモリツくらぶ、キッズサポートくにはな(幼稚園)  
 渡島東部森づくりセンター、渡島西部森づくりセンター  
 函館土木現業所、新山川草木を育てる集いなどの皆様も参加  
 ＜主な内容＞  
 ・石子理事長、来賓紹介、植樹祭参加者看板披露、幼稚園児合唱  
 ・植樹指導、参加者による約120本の植樹



大勢の参加者が全員で記念写真



作業の説明を受ける参加者



老若男女?が協働で植樹



3年間で逞しく育った木たち

### ◎第3回育樹祭

＜実施日＞ 10月19日(日)  
 ＜参加者＞ 会員15名を含む32名  
 函館サンモリツくらぶ、東部森づくりセンター、渡島支庁の皆様も参加  
 ＜主な内容＞  
 ・石子理事長挨拶や来賓紹介後、枝打ち、野ねずみ対策 他

経路強化



整備が進む「未来の森」で記念写真



無事に育つ願いを込めて野ねずみ対策



石子理事長、中川支部長ツーショット



一仕事終え恒例の豚汁は格別

## その他の事業

### ＜濱田記念の森＞

(概要) ①土地寄贈: 濱田榮盛様(砂川市)、登記: 平成20年7月1日  
 ③住所: 砂川市宮城の沢155番地 ④面積: 約5.5ha  
 (活動) 2008年5月以来、数度の現地視察を踏まえ事業検討中

### ＜第58回全国植樹祭跡地保全事業＞

(概要) 平成19年6月苫小牧市で開催の全国植樹祭跡地保全事業  
 当会は0.04haを担当。

(活動) 6月6日(土)に13名、9月9日(水)に4名が参加し、下刈りなど実施

### ＜第60回北海道植樹祭＞

(概要・活動) 6月7日(日)えりも町で開催、当会より12名が参加

### ＜レターグッズ事業＞

(概要) 福岡理事の技術を活かした樹木活用の絵葉書、便箋、シールなどの販売

(活動) ①9月12日札幌市市民活動支援センターの行事で売上3,200円 24,100円

②10月24日森づくりネットワークの集いの行事で売上21,000円 31,400円



北海道植樹祭<えりも町>



全国植樹祭跡地<苫小牧市>



レターグッズ事業の商品群

特集

# 「森林トラスト運動」と「森と木のおはなし」

当会は、皆様の会費や寄贈により、放置された山林や原野などを整備する「森林トラスト運動」による森づくりに取り組んでおり、地球温暖化防止などの環境保全への寄与を目指しております。

森林トラスト運動による森づくりが進みますと、様々な生物が活動し、環境保全に貢献します。これらを支えている様々な生物の営みの一端を、道民の森ボランティア協会発行の親しみ易く分かり易いパンフレットにより紹介します。

## 「森林トラスト運動」と「森林の働き」

### 森林トラスト運動

荒れた山林などを取得

森づくり（再生や育成）

環境保全・地域振興へ寄与  
木材や木製品の需要拡大

### 生活環境の保全

- ・ 樹木育成中の空気中CO2吸収による温暖化抑制
- ・ 温度の変化を和らげ、適度な湿度を保ち、酸素を供給
- ・ 防風、防音、防塵効果などの生活環境保全に貢献

### 山地災害の防止

- ・ 下草や落葉・落枝で雨による土壌の侵食や流出を抑制
- ・ 樹木の根が土壌を押さえ、土砂崩壊を防止

### 水源の涵(かん)養

- ・ 雨が地中に吸収しゆっくり流れ、洪水や濁水を防止
- ・ 豊富な栄養を安定的に供給
- ・ 生活や産業を支え、川辺の自然や水産資源を育む

### 保健休養

- ・ フィトンチッドの森林浴効果による野生動物や人間への快適な環境と精神的な安らぎの提供

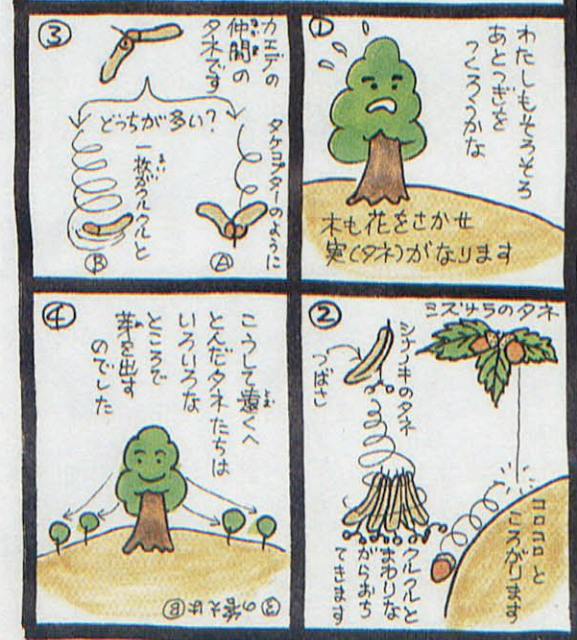
## 道民の森



## 森と木のおはなし

発行 道民の森ボランティア協会  
このパンフレットは「緑と水の森林基金」  
の助成で作成しました。

## 遠くへとバナネ



(次ページへ続く)

# 神居尻地区にある大きなミズナラの木 ドングリのはなし

① こんな大きな木も はじまりは ひとつのドングリ でした

② こんな大きな木も はじまりは ひとつのドングリ でした

③ この木は 10年の間に年輪が 20本あったとしたら この木は一年間に 0.5本たったこと になる

④ この木は 10年の間に年輪が 20本あったとしたら この木は一年間に 0.5本たったこと になる

① 北海道で今から 460年くらい 前には、日本が 戦国時代と呼ばれ、 村の長老が、

② そのドングリが こまがってたのは、 今から 460年くらい 前のことだ

③ 6m 20cm

④ 460年のあいだ一度も ここから動いたこと ないんだよ

# 木の年齢をはかる

① 樹の年輪を 数える

② 樹の年輪を 数える

③ 樹の年輪を 数える

④ 樹の年輪を 数える

① 樹の年輪を 数える

② 樹の年輪を 数える

③ 樹の年輪を 数える

④ 樹の年輪を 数える

# 森のはたらき

① 森には、木が 水を蓄え、雨を ためこんで、川に 流す役割がある

② 森には、木が 水を蓄え、雨を ためこんで、川に 流す役割がある

③ 森には、木が 水を蓄え、雨を ためこんで、川に 流す役割がある

④ 森には、木が 水を蓄え、雨を ためこんで、川に 流す役割がある

① 森には、木が 水を蓄え、雨を ためこんで、川に 流す役割がある

② 森には、木が 水を蓄え、雨を ためこんで、川に 流す役割がある

③ 森には、木が 水を蓄え、雨を ためこんで、川に 流す役割がある

④ 森には、木が 水を蓄え、雨を ためこんで、川に 流す役割がある

# ツルのくみ

① ツルは、木の 幹を食い破る

② ツルは、木の 幹を食い破る

③ ツルは、木の 幹を食い破る

④ ツルは、木の 幹を食い破る

① ツルは、木の 幹を食い破る

② ツルは、木の 幹を食い破る

③ ツルは、木の 幹を食い破る

④ ツルは、木の 幹を食い破る

# 樹液にあつま

① 木には、樹液が 流れている

② 木には、樹液が 流れている

③ 木には、樹液が 流れている

④ 木には、樹液が 流れている

① 木には、樹液が 流れている

② 木には、樹液が 流れている

③ 木には、樹液が 流れている

④ 木には、樹液が 流れている

# 動物のいるところ

① 動物の 足跡

② 動物の 足跡

③ 動物の 足跡

④ 動物の 足跡

① 動物の 足跡

② 動物の 足跡

③ 動物の 足跡

④ 動物の 足跡



## NPO法人 北海道に森を創る会

### ☆お知らせ☆

- (1) 理事新任(前今堀副理事長の死去に伴う欠員補欠)  
阿部昭彦様(現「北海道森と緑の会」専務理事)が就任
- (2) 副理事長新任(前今堀副理事長が死去のため)  
濱出惇司理事が就任
- (3) 名誉顧問就任(2名)  
海老澤順三様(現北斗市長)  
櫻庭誠二様(現月形町長)
- (4) 事務局長交代  
新任:奈良賢理事  
退任:岡田隆範理事

以上について、5月16日開催の2009年度通常総会で決議されました。

### ☆編集後記☆

「ワンポイントの知識」により、森に対する親しみや見る目が変わればと思い、道民の森ボランティア協会の協力で、「森と木のおはなし」を特集しました。  
舞台になっている「道民の森」で新たな発見や体験があれば、楽しさも格別かと思えます。

当ジャーナルに対するご意見、ご要望や話題・情報の提供をお待ちしております。

担当:岡田隆範(連絡先 携帯電話:090-7087-2741)

発行 NPO法人北海道に森を創る会

編集 北海道に森を創る会事務局

札幌市北区北8条西3丁目(札幌エルプラザ2階) 札幌市市民活動サポートセンター内

電話:(011)826-6025

FAX:(011)826-6453

E-mail: moritukuri@nifty.com